

CQ4

スコープで取り上げた重要臨床課題(Key clinical issue)

高血圧患者における減塩目標6g/日未満は推奨されるか？

CQの構成要素

P (patients, problem, population)

性別	(指定なし)
年齢	(指定なし)
疾患・病態	高血圧患者
地理的要件	なし
その他	なし

I (intervention) / C (Comparison, controls, comparators)のリスト

6g/日未満を目指した減塩/対照(通常塩、軽度の減塩)

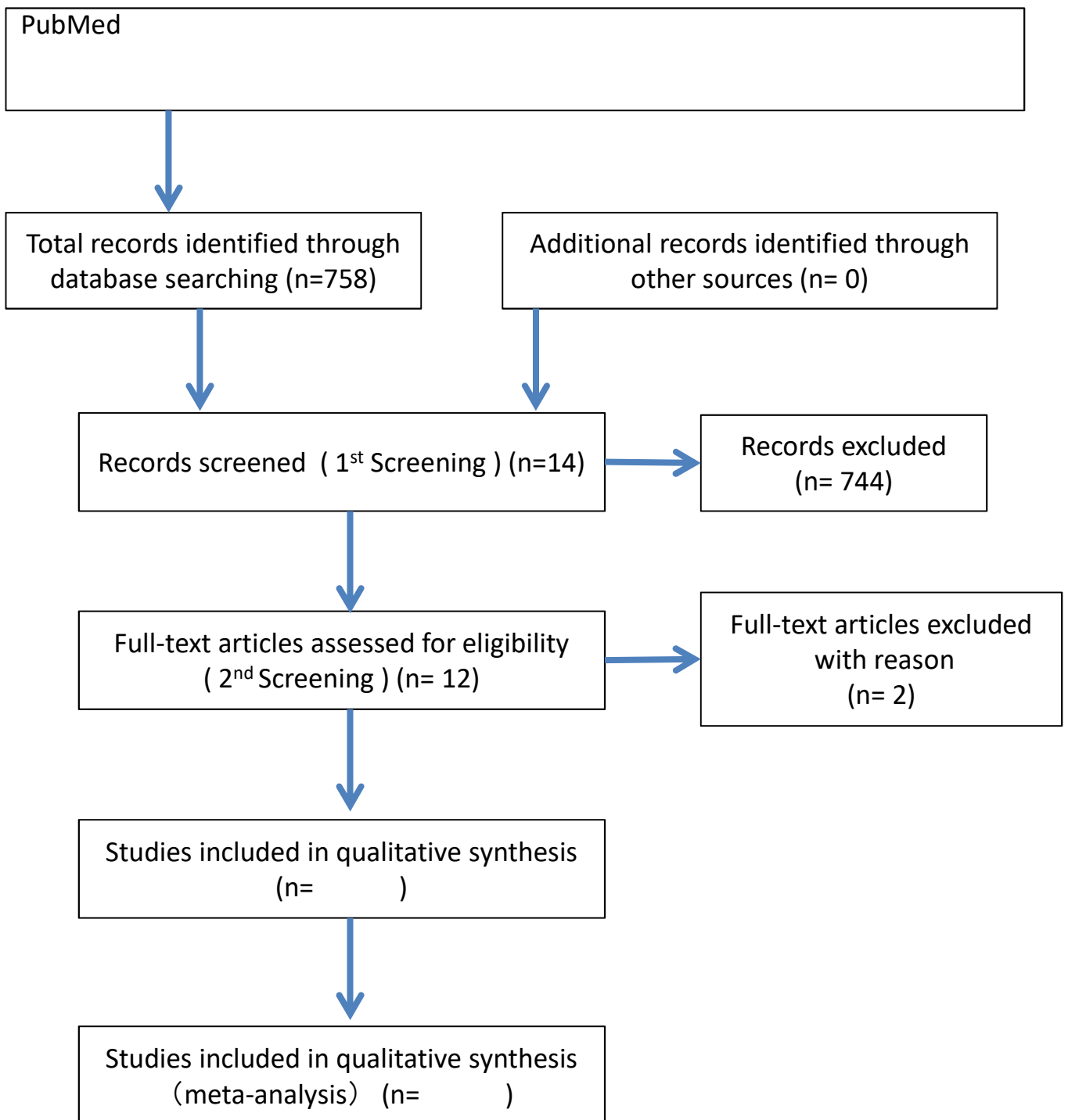
O (outcomes)のリスト

	outcomeの内容	益か害か	重要度	採用可否
O1	血圧の低下	(益)	6 点	可
O2	心血管イベント/心血管死の抑制	(益)	9 点	可
O3	全死亡の増加	(害)	9 点	可
O4		(益・害)	点	
O5		(益・害)	点	
O6		(益・害)	点	
O7		(益・害)	点	
O8		(益・害)	点	
O9		(益・害)	点	
O10		(益・害)	点	
O11		(益・害)	点	
O12		(益・害)	点	
O13		(益・害)	点	
O14		(益・害)	点	
O15		(益・害)	点	
O16		(益・害)	点	

最終的なCQ

6g/日未満を目指した減塩/対照(通常塩、軽度の減塩)

文献検索フローチャート



【4-10 SR レポートのまとめ】

網羅的文献検索の結果、本 CQ は下記に相当すると判断し、システマティックレビューを新規に行わない。

「システマティックレビューの必要性に関するカテゴリー分類
パターン A：良いシステマティックレビューが存在する。新規 RCT が存在しない。⇒既存のシステマティックレビューを利用して、推奨を提示（システマティックレビューを新規に行わない）。」

- 1) 減塩は有効な降圧をもたらす。
- 2) 減塩と総死亡、心血管イベント/心血管死については、介入試験がない。
- 3) 減塩と総死亡、心血管イベント/心血管死について検討した観察研究では、直線的関係があるとする報告と J カーブ・U カーブ現象があるとする報告がある。

1 日 6g 未満を目標とした減塩は有効な降圧をもたらした。一方で、食塩摂取量と総死亡、心血管イベント/心血管死については、介入試験がなく、また、観察研究では両者の関係が直線的であるという報告と J カーブ現象があるという報告があり、現時点で一貫したエビデンスはない。